# 北海道における外国人医療提供体制構築に向けた取組み

北海道保健福祉部地域医療推進局
医務薬務課　　越湖　允也

# 北海道における訪日外国人の受入れの状況

**訪日外国人宿泊者数（延べ人数）※**

| 区域 | 令和元年度（人泊） | 令和2年度（人泊） | 前年比（%） |
|---|---|---|---|
| 道央 | 5,479,692 | 48,543 | ▲99.1 |
| 道南 | 674,447 | 4,184 | ▲99.4 |
| 道北 | 923,211 | 4,905 | ▲99.5 |
| オホーツク | 119,996 | 1,422 | ▲98.8 |
| 十勝 | 162,704 | 597 | ▲99.6 |
| 釧路・根室 | 176,006 | 2,241 | ▲98.7 |
| 北海道計 | 7,536,056 | 61,892 | ▲99.2 |

※R2北海道観光入込客数調査報告書（北海道経済部観光局観光振興課）

# 外国人の医療提供体制構築に向けた取組

## 外国人に対する医療機関情報の提供

- 「北海道医療機能情報システム」の多言語化

## 外国人患者の受入に関する実態把握

- 全道の医療機関に関する受入状況調査の実施

## 全道規模の各種団体・関係者の情報共有

- 医療のみならず、観光、交通、宿泊、保険等の関係団体の関係者による意見交換会の開催

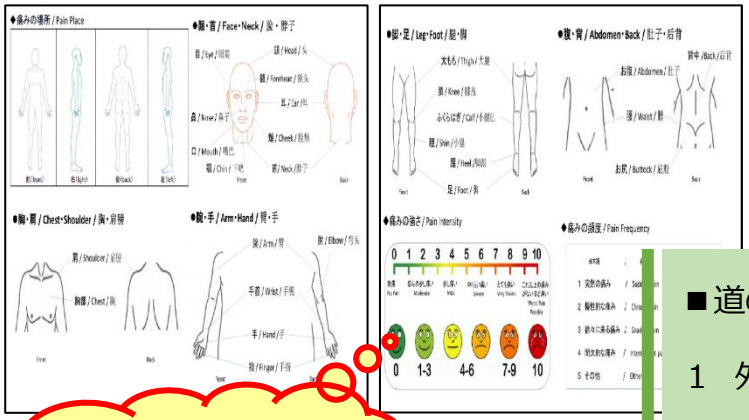
## 先進取組地域での対応力強化

- 豪州観光客の多いニセコ地域関係者による意見交換の開催や各種情報ツールの共有

## 医療機関の受入体制支援

- 外国人患者受入にあたっての指針策定と普及

英語、韓国語、簡体字、繁体字、ロシア語の５カ国語で対応




ニセコ地区の医療機関マップや症状の指差しシートなどの情報を共有

■道の作成した指針概要

1　外国人患者受入にあたってのポイント

2　患者受入体制の整備

3　外国人患者受入可能医療機関数

4　道内各地域の取組

道内の医療機関向けに、外国人患者へ対応の基本的な考え方をとりまとめ

# 外国人患者対応に関する地域会議

○外国人患者の受入にあたっては、医療機関ばかりでなく、観光、消防、交通など多くの分野の関係者間で情報共有や意見交換を通じて連携を図っていくことが重要

○全道規模の各種団体・関係者の情報共有

平成３０年度に「外国人への医療提供に関する全道意見交換会」を開催
意見交換により
・外国人旅行者が安易に救急車の利用を要請する事例
・医療機関において、症状や治療内容を説明する際、コミュニケーションに困っている
などの課題があげられた。

※今後、関係者の連携を強化していくことで認識を共有。

**○二次医療圏レベルでの意見交換会（地域会議）の開催（令和元年度）**

外国人患者受け入れの現状、課題、取り組み状況などを各種団体・関係者による情報共有、意見交換を行い、地域における外国人患者受け入れの体制の充実を図る。

・令和元年度開催圏域：十勝、後志、富良野地域で開催
・翻訳ツール体験会を同時開催

# 医療従事者等向け外国人患者対応力向上研修

○医療機関が外国人患者を受け入れる際には、医師、看護師をはじめとする診療や検査に携わる医療従事者や受付の事務担当者など関係者が外国人患者への対応力を高めていくことが重要。

## ○医療従事者等向け外国人患者対応力向上研修（令和元年度～）

外国人患者を受入れる医療機関においては、言語や生活習慣、文化の違いなどによるコミュニケーションの課題などを抱えていることから、医療関係者及び医療ボランティアの方々を対象に、外国人患者へ対応する際の基本的な研修を実施

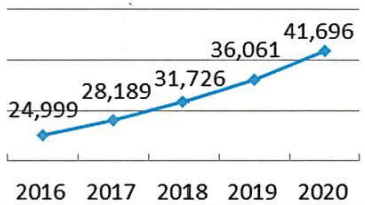
・研修内容：外国人患者に対応する際の基本的な心構えや注意点
日本の医療制度と外国人患者の未収金対策
多言語対応の事例
院内の接遇で使える日常会話例
受付や会計など場面別の対応で必要な会話事例
感染症関連での外国人対応における注意点　　など
・研修方法：インターネットを活用した、e-ラーニング方式
（道内どの地域に居住していても、また、働きながらでも都合の良い時に受講）
・受講期間：令和３年１１月１日～令和４年３月３１日

# 多文化共生社会の実現に向けた取組の方向性

令和3年11月
北海道総合政策部国際局

## 現状について

・グローバル化の進展に伴い、本道在住の外国人は継続的に増加
・また、一次産業等への技能実習生の増加に伴い、外国人の居住地域が広域分散化




| 空知 | 石狩 | 後志 | 胆振 | 日高 | 渡島 | 檜山 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1,019 | 17,929 | 4,959 | 2,390 | 1,024 | 2,527 | 137 |
| 上川 | 留萌 | 宗谷 | オホ | 十勝 | 釧路 | 根室 |
| 3,093 | 438 | 912 | 2,449 | 2,256 | 1,613 | 950 |

・加えて、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、外国人が抱える課題が複雑・多様化

| 入国 | 保険・医療 | 交通 | 通訳 |
|---|---|---|---|
| 511 | 361 | 251 | 249 |
| 雇用 | 住宅 | その他 | 計 |
| 238 | 53 | 695 | 2,358 |

※その他 … 日本語学習、身分関係、出産・子育て 等

在住外国人に身近な基礎自治体が主体的な役割を担うなど、**個々の実情に応じたきめ細かな対応ができる環境づくり**が重要

道ではこれまで、多文化共生の基礎となる「外国人の相談体制の整備」を図るとともに、地域における受入環境の構築に向け、住民や自治体職員に対する意識啓発や、コア人材の育成を目的とした日本語教育の研修会などを実施。

| | これまでの取組 | | 今後の展開方向 |
|---|---|---|---|
| 啓発 | 各種セミナー、国際交流団体との意見交換等 | 実践 | 地域スキルアップワークショップ<br>・外国人対応能力の向上を図る研修や意見交換を通じて各地域特有の課題を抽出<br>・市町村、交流団体、振興局等による地域連携の取組 |
| 研修 | 日本語教育、やさしい日本語等の講習会 | | |
| 相談体制 | 相談センター設置 | 拡充 | 相談員の増員、移動相談会の充実等 |

左記の現状認識を踏まえ、今後、**「相談体制のさらなる充実」を図る**とともに、これまで実施してきた意識啓発や人材育成の成果を生かし、実際の外国人の**地域への受入活動へとつなげていくための地域連携促進事業等を全道的に展開**する。

## 【今後の展開方向】

### 令和3年度

**地域スキルアップワークショップ**

【概要】
外国人との共生において重要な役割を果たす市町村や国際交流団体等を対象に対応力向上を図るワークショップを開催
※実施する地域及び時期等は、市町村アンケート等をもとに市町村・振興局と調整のうえ決定（内容は地域の意向に合わせて調整）

**災害時外国人支援体制の試行運用**

【概要】
道内在住外国人に対し、災害や防災に関する適切な知識をもって避難行動を行えるよう、平時から日本人と同様の防災意識の向上を図り、災害発生時に迅速かつ適切な多言語支援を行うため、災害時の外国人サポートの充実に向けた必要な取組の検討・実施

実践

### 令和4年度～

（想定）地域課題の解決に向けた実践的な取組
在住外国人の地域社会参画への契機となるモデル事業の全道展開（複数市町村連携型）
・地域住民との交流　・生活ガイダンス
・日常生活に必要な日本語講座 等
を同時開催

自走化

### 目指す姿

○多文化共生社会の形成

市町村、地域住民等の相互連携による外国人の地域受入れへの主体的な取組の展開

○在住外国人の相談対応

道内のそれぞれの地域で安心して暮らせる環境の実現

市町村、国際交流団体等、地域との連携強化　　相互連携体制の確立

災害時外国人多言語支援体制の試行運用の結果検証

**北海道外国人相談センターの運営、道内各地域での移動相談会の開催など**

広域自治体である道が設置する相談窓口であることを踏まえ、外国人が多数在住する地域や相談対応が十分でない地域などへの対策の強化に努める
▼相談対応の充実化「相談員の増員(R3)」 ▼多くの相談機会の創出「移動相談会の充実,休日・夜間相談による対応」 ▼市町村窓口の設置促進